

令和4（2022）年度 外部評価委員による評価結果 （基準6 内部質保証）

I. 評価者

所属・役職 東京家政学院理事長/筑波大学名誉教授
氏名 吉武 博通

II. 基準6全体の総評

教育の質を重視しつつ、教育、研究、社会貢献、管理運営を対象とする内部質保証の仕組みが整備され、定着しつつある様子が窺える。ここに至るまでに尽力された学長はじめとする大学執行部、学部・研究科教員、関係部署の職員の皆さんに心から敬意を表したい。

また、法人の理解と支援なしには成し得ないことであり、理事長はじめ法人関係者にも同様に心からの敬意を表したい。

外部評価委員として評価に関わらせて以来、着実に整備が進み、かなり高いレベルで仕組みが整い、機能していると評価することができる。学内の論理だけでなく、学生が活躍する社会の視点から教育のあり方を考えようとする姿勢も素晴らしい。

形は整い、定着しつつある。これを学生の成長にどう繋げるか。データ上は学生の主観的評価も高いようであるが、そのことに満足することなく、外国語大学の名に相応しい、より高い語学力とグローバルな視野を養い、京都外国語大学のプレゼンスをさらに一層高めていただきたいと思う。その可能性は十分にあり、内部質保証がその土台になるものと期待している。

最後に、自己点検・評価活動は、教育現場に負担をかけ、大学全体で多くの時間と労力が費やされる傾向にある。デジタル技術を活用するなどして、業務の簡素化・効率化を図りつつ、質保証や改善活動を実質化する方策を引き続き検討していただきたい。